

12月22日(火)

次世代プロジェクト公開講演会

[主催]数理学と生体医工学・産業との連携による数学イノベーションの推進エンタプライズ、福井大学COC事業、[共催]数学協働プログラム

場所: 福井大学文京キャンパス・アカデミーホール

参加費・無料

「細胞システムの理解と制御にむけた幾何学的方法の検討」ワークショップ

9:40-10:00	(運営委員会)		
午前			
10:00-10:10	小西慶幸		開式の辞
10:10-10:30	小西慶幸	福井大学・工	分岐神経軸索の形態制御システム
10:30-10:50	堤弘次	北里大学・理	RacGAP因子FilGAPによる細胞運動におけるアクチン細胞骨格と細胞内輸送の協調制御(仮)
10:50-11:10	藤田聡	福井大学・工	細胞間相互作用による自己組織化的な組織修復過程のモデル化の試み
11:10-11:25	(休憩)		
11:25-12:05	御橋広真	名古屋大学・名誉教授	細胞内の運動の分子レベルのベクトル法則/細胞形態変化(幾何学)
12:05-12:30	<ポスタービューイング>		
	柵木明	福井大学・工	緩やかな傾斜での重心動揺-年齢間での検討-
	溝渕礼雄	福井大学・工	Kinect V2を用いた剣道教育支援システムに関する研究
	山形洸二	福井大学・工	眼球心臓反射で生じる心拍とストレス指標の時間変化に対する評価
	森柚樹	福井大学・工	NIRSを用いた3Dゲーム機が脳血流量に及ぼす影響の検討
	衛藤拓也	福井大学・工	タブレットPCを用いた読書時の脳血流量変化に関する研究
	館山圭輔・津町諒大	福井大学・工	運動負荷が胃電図に及ぼす影響
	今枝卓也	福井大学・工	筋活動低下を伴わないREM睡眠(RWA)の量的評価の検討
	岸下知樹	福井大学・工	カオスを用いた群ロボットの振舞い
	佐藤祐紀	福井大学・工	テニス指導支援システムへの応用するための身体運動計測の検討
12:30-13:30	(休憩:昼食)		
午後			
13:30-13:50	松浦執	東京学芸大学	糸状菌コロニーのパターン選択則のモデル化の研究(仮)
13:50-14:10	高木隆司	東京農工大学・名誉教授	乱雑信号から秩序構造をどのように抽出するか
数学協働プログラム・ウェアラブル機器によって得られた医療ビッグデータを利活用するための数理モデルの開発 ワークショップ			
14:10-14:30	中野那津子	名古屋市立大学・医	睡眠医療ビッグデータを利活用する数理科学に期待すること
14:30-14:50	(休憩)		
14:50-15:10	小森雄太	明治大学・政治制度研究センター	地方自治体による感染症への行政対応の実証研究-2009年新型インフルエンザを事例として-
15:10-15:30	五條理保	明治大学・政治制度研究センター	ウェアラブルデバイスを用いた高度産業人材の育成に関する基礎的研究
15:30-15:50	小田一之	インタークロス(株)	医療ビッグデータを利活用するベンチャー企業にできること
15:50-16:10	横山清子	名古屋市立大学・芸工	座面圧センサーで収集した呼吸情報からの身体状態推定
16:10-16:30	(休憩)		
COC事業「国際的視点に立った福井県における高大連携数理教育の検討と実践」講演会			
16:30-16:50	吉野隆	東洋大学・理工	SSHの運営委員および高校への模擬授業の経験から考える数理教育の高大連携
16:50-17:10	高田宗樹	福井大学・工	雪国からの数理教材・閉会の辞
17:10-17:30	<フリーディスカッション>		
17:30-19:00	(運営委員会)		